

第 21 回東京科学シンポジウム コロナ危機の時代を生きる — 科学・人権・市民的連帯 —

2021 年 11 月 27 日 (土) ~ 11 月 28 日 (日)

開催方式: オンライン (Zoom ミーティング)

参加費無料 (事前の参加登録が必要。誰でも参加できます)

●特別報告 (11 月 27 日 13:20 ~ 17:15)

1. 「コロナ禍における生活困窮者支援の現場から」
稲葉 剛さん (つくろい東京ファンド代表理事)
2. 「コロナと憲法 53 条臨時国会問題」
志田陽子さん (武蔵野美術大学)

●分科会 (11 月 27 日: 午前、11 月 28 日: 午前・午後)

主催: 日本科学者会議東京支部

詳細は HP (<http://jsa-tokyo.jp/>) 参照

インピーダンス

日本共産党通研支部

<http://impedance.sakura.ne.jp/>
jcp.impedance@gmail.com

No. 2563

2021 年 11 月 22 日

定価 1 部 10 円

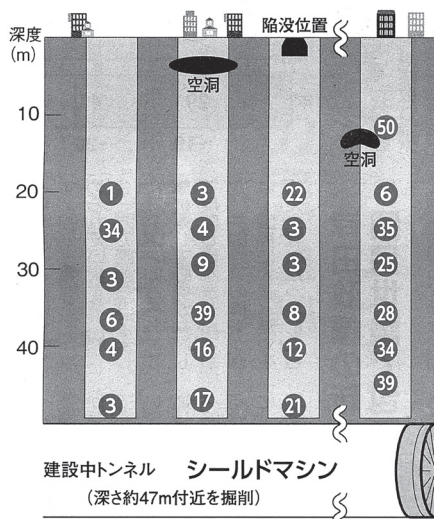
「赤旗」スクープ

東京外環道 緩すぎる地盤 「大深度地下」の要件満たさず 工事認可取り消すレベル

東京外環道のトンネル工事で起こった調布市の陥没事故。複数地点で、建物の基礎を支える「支持基盤」が大深度地下の要件を満たしていないことが「しんぶん赤旗」の調べで

発覚しました。シールドマシンは大深度地下部分を掘り進みますが、この大深度地下の範囲を決める大前提が「支持基盤」で

外環道の陥没現場付近のボーリング調査
N値50以上の支持地盤が無い

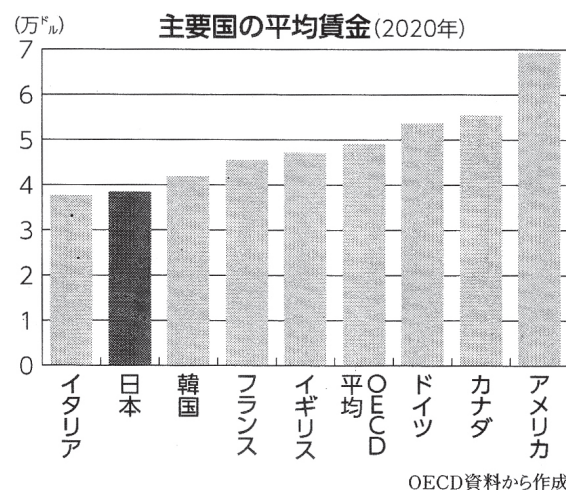


●数字は地盤の強さを示すN値

建設中トンネル シールドマシン
(深さ約47m付近を掘削)

す。国交省の解説書は支持基盤の判断基準について「原則として、当該地盤のN値が50以上」と示しています。陥没事故後に東日本道路工事が現地でボーリング調査を実施しました。13地点で調査し、そのうちの4地点で、地下空洞上部の一点を除きN値に達しませんでした(図)。

今週の数字



力でした。大深度地下の条件を満たしていなければ外環道工事の認可を取り消さねばなりません。

米が核先制不使用宣言なら積極的意義

否定する日本政府を批判 (要旨)

志位委員長が会見

日本共産党の志位和夫委員長は11日、米政権が「核態勢の見直し」で、核兵器の先制不使用宣言を検討していることについて、日本政府がそれを否定する態度をとっていることを

厳しく批判しました。志位氏は「米国のような核兵器大国が、先制不使用政策を宣言すれば、それ自体、核戦争のリスクを減らす積極的な意義をもつ」と強調。

そのうえで、「わが党は核兵器廃絶のすみやかな実現を一貫して求めると同時に、核兵器の先制不使用、非核保有国への核兵器使用・威嚇の禁止など核軍縮の個々の部分的措置の前進を求めてきた」と述べ、日本政府に核戦争反対、核兵器廃絶を願う内外の世論に背を向ける態度を改めることを強く求めました。

NTT R&D
フォーラム開催(16
19日)。「テーマは

職場から

「Road to IOWN 2021」3年目に突入したIOWNの進展状況の講演と展示が中心だった「ライブ展示説明もあった」

【ついでに】

COP26 inグラスゴー 石油・天然ガス撤退へ 国・地域の同盟が発足

英北部グラスゴーで開かれたCOP26で11日、デンマークと中米コスタリカが主導し、石油と天然ガスからの段階的な撤退を目指す「石油・天然ガスの先へ同盟」が正式に発足しました。

デンマークのヨルゲンセン気候・エネルギー・公益事業担当相

文書「不存在」あり得ない 学術会議任命拒否6氏が補充書 不開示取り消し請求

日本学術会議の会員任命を拒否された6氏と法律家は、情報開示請求に「不開示」などとした政府決定に対して行政不服審査法に基づく審査請求書の補充

書を政府に提出しました。補充書では、任命拒否を実質的に判断したのが杉田官房副長官(当時)であるのは明白だと指摘。6人を選んだ根拠となる文書が「不存在など」ということはあり得ない」として不開示決定の違法性を詳述しています。

記者会見で任命拒否された岡田正則早大教授は、「岸田首相には任命拒否した違法状態を解決する義務と説明責任がある」と述べました。

は記者会見で「石油と天然ガスの終わりの始まりとなると願っている」と語り、スウェーデンのボルンド副首相兼環境・気候変動相は



「化石燃料の時代は終わった。再生可能エネルギーこそが私たちの未来だ」と強調。来年、石油と天然ガスの採掘や探査の中止を法制化する計画だと表明しました。

【職場からの続き】

COP26閉幕。「世界の平均気温の上昇を産業革命前より1.5度に抑える努力を追求すると明記した」「島しょ国などが求めている、資金支援の枠組み創設については合意できず、失望の声があがった」「石炭火力発電は「段階的な廃止」が「段階的な削減」に弱められた」

× ×

なった」

× ×

1年以上の長期失業者66万人。「昨年より18万人増えた」「新型コロナウイルスの影響による求人減少など失業が長期化する傾向が続いている」

× ×

将棋、藤井聡太三冠が竜王を奪取(13日)。「豊島将之竜王を4勝0敗で下した。すごい」「羽生善治九段の最年少四冠記録を更新した」「竜王を含めた四冠を保持したことで全棋士の頂点に立った」

× ×

大谷翔平、ア・リーグMVP受賞(19日)。

海外短信

米大リーグ機構 来季からマイナー選手へ住宅 提供義務付け

米大リーグ機構(MLB)は来季から球団側が傘下マイナーリーグの選手たちに住宅を提供することを義務付けると発表した(10月17日)。

マイナーリーグでは、薄給のためオフシーズンに別の仕事に就かざるを得ない選手も多くいます。ほとんどの選手もシーズン中の住居の

確保と支払いが一番の問題でした。

先月にはメッツとフイリーズ傘下のマイナー選手が待遇改善を求めるリストバンドをつけてプレー。大リーグでも複数の選手がこのリストバンドをつけるなど、連帯が広がっていました。

読書

「グレタ たったひとりのストライキ」

マレーナ・エルンマン、グレタ・トゥーンベリ(著)
羽根由(翻訳)
海と月社1600円(税別)

想像とは違ってグレタの母の目線による家族の記録だった。グレタは11歳の時に授業で環境問題の映画を観た

ことがきっかけで摂食障害、うつとなり、アスペルガー症候群と診断された。妹のベアタは怒りの発作を発症、ADHDと診断される。これに葛藤する両親の姿が赤裸々に書かれている。

グレタは独学で気候問題を学んだ。「みなさんの家が燃えているかのように行動してほしいのです」とのグレタさんの発言に突き動かされた。

(I)

「快挙だ。満票だった」「イチロー以来20年ぶりだ」

× ×

米大リーグ。マリナーズがイチローの球



と」

× ×

月食(19日)。「東京は98%と、ほとんどが隠れる部分月食だった」

× ×

「通研の正門から武蔵野住宅のバス停に向かうイチヨウ並木が黄金色に染まりはじめた」「10号館前や技術史料館前のイチヨウは木によって差があるが緑が目立つ」